

## Hop Step Jump

## 3

授業づくり①  
学習指導要領と授業について

第2回初任研は授業づくりについて、学習指導要領や大阪の授業スタンダードを参考に行いました。前半は、豊能地区教職員人事協議会、三好研修グループ長による学習指導要領についての講義でした。三好先生の専門は中学校国語科です。

学習指導要領に記載された同じ教科の各校種のところを見て、違いを確認し、自分の所属している校種に求められるものをしっかりと理解し授業に取り組む必要を感じました。また、体験活動を通じて学習に消極的な生徒にも、「自分にもできることがある！」という成功体験ができるようサポートする授業を組み立てていきたいと思います。

学習指導要領の内容に即した形で、カリキュラムや教科書が作られています。日々の授業を考える際に、学習指導要領までさかのぼって考えることはないかもしれませんが、そこに書かれている内容を理解しておかなければ、すべての土台が揺らぐこととなります。また、小中高各校種、各教科の違いやつながりを読み解くことで見えてくるものもあります。教科の目標の作られかたや、教育の言葉の使い方など様々に学ぶことが可能です。暗記すべきとまでは言わなくても、いつでも引き出せるようにしておくことは必要かと思えます。

後半は、能勢町教育委員会学校再編室、後藤るみな理事による授業づくりについての講義でした。後藤先生はもと小学校教諭です。

発問の難しさは学生のときから感じていました。今日の後藤先生のお話を聞いて、子どもたちが答えやすい、考えやすい工夫をした発問を考えなければいけないなと感じました。大阪の授業スタンダードも活用したいと思いました。先輩の先生も頼って、たくさん教えてもらおうと思います。

参観したり、してもらったり、多くの先輩の力を借りながら、授業づくりができれば最高です。授業も時代とともに変化します。毎年同じノートで、毎年同じ授業ができた時代は終わっています。先輩も授業づくりでは苦しんでいます。だからこそ先輩たちも皆さんに期待しています。授業づくりの難しさを共有し、共に考えることがキャリアの長短に関わらず大切なのです。皆さんの存在は、学校の活性化につながります。

授業の中で、最近少し息苦しさを感じていました、教え込み中心になっていたからかもしれないと、本日の研修で気付くことができ本当に良かったです。「子どもたちの立場から授業をつくる」。当たり前のことに目を向けられないほどに、日々追われていたように思います。今日という日は、今までを省みる良い機会となりました。本当にありがとうございました。

皆さんにとっては、新しい生活がはじまり、校務分掌や授業、家庭訪問、宿泊行事、クラブ活動、健康診断…。日々日々乗り切るだけで精一杯ではないかと思えます。本当に学校の仕事には際限がなく、本来中心となるべき授業の準備がどんどん後へと押しやられていきます。それが教師にとって本当にストレスになるところです。まずは指導書などを参考に授業を進めましょう。そして「この時期に」「この授業」で勝負してやろう！という計画を立てるのです。ねらいを持って授業をする。そして振り返る。そんな戦略が授業力アップには欠かせません。その先に子どもたちがわくわくと取り組む授業が待っているはず。目指すべきは、

「先生が教えたことを生徒が学びたいことに変える！」このことをしっかり意識して授業を考えていきたいと思いました。

であり、

「先生が教え込む授業」から「子どもが学びとる授業」に自分の授業がしていけるように頑張りたいです。知識のある子どもだけが活躍できる1問1答型の授業にならないように努力していきたいです。そのためにもクラスの子どもの実態を把握し、教材研究に努めたいです。ありがとうございました。

この研修でもそうありたいと思います。一緒にがんばりましょう。